

令和5年度自己評価・自己点検のまとめ

認定こども園 こもれびのもり幼稚園

当園では、子ども達の健やかな成長と安全確保をするとともに、職員一人一人の教育・保育の質の向上を図る為、チェックリストを活用し良かった点や改善点を再確認し、職員のスキルアップに努めている。

子ども達の為、保護者や地域との連携や子育て支援の充実に努め、皆様に安心して足を運んでいただけるような環境作りを目指している。

また、職員一人一人が常に子ども達の大切な命を預かっているという使命感を持ち、これからも保育の質の向上に努めていきたい。

1. 自己評価

① 教育・保育の質の向上について

保育教諭の専門性の向上を目指すため、園内研修やキャリアアップ研修、外部研修に参加し学びを深めている。その学びを職員間で情報共有し、日々の保育に生かし、教育・保育の質の充実に努めている。

公開保育を行い、学校関係者、幼児教育保育施設関係者、自治体の皆様に評価をしていただき、子どもの主体的な学びや育ちの連続性などについて理解を深め、今後の課題に向き合い、前向きに取り組んでいる。

また、指導計画の作成や見直し、子どもの育ちの様子のできかえりを通し、個々に合わせた配慮、個別配慮児の特性に合わせた対応や計画を大切に、よりよい配慮へとつながっていくよう努力している。

<改善策>

様々な研修や研究会に積極的に参加し、学んだ事を自園の取り組みや環境に合わせ、どう生かしていくかを職員間で話し合い保育に生かしていきたい。

外部講師からのアドバイスや、公開保育をする事での学びや課題、評価を保育に生かしよりよい環境づくりを目指していきたい。

市内の小学校や自治体、地域との連携を今後も大切にし、子ども達の為に、官民連携の体制づくりを目指していきたい。

ICTシステムを活用し、日々の子ども達の成長や育ちを捉え、園全体で共有しながら、職員の協働性をさらに高め、保育の質の向上に努めていきたい。

② 健康・安全・衛生管理について

子ども達が安全で安心な生活が送れるよう、園舎内や園庭の設備、点検、危険箇所の有無を確認するよう意識してきた。

季節や状況、遊びの発展によって環境も様々に変化するので、その都度、安全を第一に考え配慮をしているが、遊びの中では、予想されない場所で小さなけがやヒヤリハット事例があった。「子どもの命を守る」を第一に、危険を予知、予測し、けが予防や事故につながることをないよう日々確認しながら、よりよい環境づくりに努めていく。

野菜作りを通して、食への興味や食べ物を大切にする気持ちを育み、苦手だった野菜も食べられるようになる等、食への意識が高まった。

実った野菜を収穫し、そのまま食べたいという子ども達の気持ちもあるが、野菜によっては、大きさや形で窒息の危険性もある為、調理法など十分配慮し、安心安全に努めていかななくてはならない。

近隣にカモシカが出没したり、地域の中でクマの目撃情報が入る事があった。散歩や園庭遊びの際に獣と遭遇した際の対策の重要性、迅速な情報提供をしていく重要性の意識が高まった。

<改善策>

園内外、危険箇所がないか安全点検を行い、全職員で安全について再確認する。壊れた物をそのまましない事や修理等について、具体的な改善策を話し合い、職員一人ひとりが責任を持って対応していく必要がある。

日々の子どもの遊びの様子をふりかえり、園の危険予知マップにて、職員間で話し合いを持ち、今後もけが予防や事故防止に努めていきたい。

毎月の避難訓練にて、地震や火災のみならず、あらゆる災害を想定した避難について確認し、全職員が意識を持ち、迅速に安全に避難させる方法を身に付けられようにする。

危険動物被害対策、マニュアルの確認や対策方法を話し合い、いざという時に、落ち着いて行動出来るようにする。訓練後は反省会を行い、次回に活かすように取り組んでいく。

③ 地域連携・子育て支援について

未就園児サークル「ドリームサークル」や園庭開放、一時預かり事業などを通して、地域の子育て世帯が園に足を運び、交流を持つことが出来ている。未就園児サークルは毎月様々な企画を考え、子どもも保護者同士も交流を持ち、リフレッシュしながら楽しく参加している。乳児や父親の参加も増え始め、保育体験や給食試食会など実際に園生活を体験し、安心できる環境の中、共に子育てを楽しむ場となっている。していく場所作りになっている。

近隣企業の方とも交流を持ち、園行事や地域の活動と一緒に参加する機会を作り、共助できるつながりを大切にしている。

企業で働く方のお子様も来園し、一緒に楽しむ姿もみられてきている。

<改善策>

今後も子育て支援の充実をはかり、気軽に足を運んでもらえるよう、魅力ある居場所づくりに努めていきたい。

また、地域との交流を大切にし、共に楽しみ、災害時やいざという時に支えあい、安心感を持てるよう地域に開かれた園として取り組んでいきたい。

2. 自己点検分析

① 危機管理

自然災害はもちろん、近年多く出没している小動物やに獣に対する対策や、日常の保育活動中に起こりうる事故やけがなど未然に防ぐ対策にも心がけていかななくてはならない。そのため、職員、一人一人が有事の際の備えを万全にしておく必要がある。保育者自身も心に余裕を持ち、様々な事象に感心を寄せ常にアンテナを張りめぐらせることが大事である。

② 保護者対応

送迎の際は玄関先や、バス乗降のちょっとした時間を利用し、その日の出来事や成長などひと言でも声をかけ話をし、子ども達の成長を共感し合い、コミュニケーションをとるなど日頃から対話しやすい関係作りに心がけ日々の対話を大切に、信頼関係を築いていけるようにしていきたい。

また、スタッフ同士の申し送り、保護者からの伝達事項、情報共有は綿密にし、共通理解を図ることが大切である。

③ 職員の意識改革

お互いに良い所を認め合い補い合いながら、日々成長しようとする気持ちと意欲を大切にしたい。

どんなささいなことでも職員間で話し合い共通理解を図るとともに、教育・保育の質の向上を目指し研鑽を積んでいく。

3. クレドの見直し

「保育クレド」を通し、園のその時の状況や世の中の動き、場面に応じた対応や心構えに敏感に対応していく力を養いたい。また現状や課題を整理し、その都度省察し、見直しながら邁進していきたい。その時々に合わせて内容の検討を今後も続けて行きたいと考えている。

4.まとめと今後の展望

<園として>

園の理念や基本方針を職員が共通理解し、それを念頭に今後も教育・保育の質の向上を目指していきたい。

個々を大切に考えて子どもの育ちや学びの大切さに敏感に呼応し、その時その時の状況に応じ、臨機応変に教育・保育活動を展開すると共に保育教諭自身が人的環境として子ども達をとことん愛し常に「子どもたちのため」を思いながら努めを果たしたい。

また、地域に開かれた園として、子育て支援の充実や地域の安心できる「居場所」として機能できるよう今後も努力していきたい。

<スタッフとして>

保育者1人ひとりが、保育教諭としての意識と志を高く持ち、学ぶ意欲を持って保育の質の向上を目指していきたい。

また、今まで以上に保護者への信頼を得、安心して園へ預けられる場となれるよう努力していきたい。

子どもも職員も全員が毎日喜んで園に来て、喜びや楽しさを感じながら、笑顔で毎日を送れるようにしていきたい。